

日本建築学会北海道支部 2005 年度第 1 回常議員会議事録

記：小篠

日時：平成 17 年 7 月 19 日 17:30～19:00

場所：日本建築学会北海道支部事務所（大通ダイヤビル）

出席：支部長：城

常議員：飯田、塚田、鳥谷部、南出、米田、小篠、久保田、澤田、田中、玉木、藤原

事務局：菊地

配布資料

【報告・承認事項】

2004 年度第 6 回常議員会議事録（案）	資料 1 - 1
支部経理報告	資料 1 - 2
後援依頼について	回覧資料
道内工業高校卒業設計巡回展について	資料 1 - 3
支部常議員役割担当（案）	資料 1 - 4

議事内容

【報告・承認事項】

2004 年度第 6 回常議員会議事録（案）（飯田 / 資料 1 - 1）

- ・ 議事録案は訂正なしに承認。

本部理事会、支部長会議報告（支部長 / 資料なし）

- ・ 支部に報告することは特になし。明日（7 / 20）学会本部の理事会がある。理事会にて連絡等の必要な審議事項が生じればメールにて連絡を行う。

支部経理報告（飯田 / 資料 1 - 2）

- ・ 次の常議員会にて羽山先生より内容についての説明を行う。

後援依頼について（飯田 / 回覧資料）

- ・ 日本コンクリート工学協会：「スマトラ地震および津波被害調査報告会」（すでに開催済み）
- ・ 北海道建築設計事務所協会：「第 30 回北のすまい住宅設計コンペ」

道内工業高校卒業設計巡回展について（飯田 / 資料 1 - 3）

- ・ 6 月 27 日より 12 月 12 日のスケジュールで実施。

北海道建築士会 CPD 関連委員会報告（鳥谷部 / 資料なし）

- ・ 7 月 13 日に会議開催。専攻建築士審査評議会は、7 名の評議委員が選ばれた。建築士会の専攻建築士の審査を行う。
- ・ プログラム認定評議会（月 1 回開催）は、支部として CPD プログラムを認定するものを決定する場合のアドバイス。専門部会をつくり、委員の顔合わせ。今後の進め方を審議した。

その他（飯田 / 資料なし）

- ・ 今年度常任幹事に対する業務引継ぎが終了。

【議題】

常議員会の役割担当について

(支部長/資料1-4)

- ・ 事業主査連絡会：今年見直しを行うため、数回開かれる予定。それぞれの担当常議員は、その委員会に関して事業主査連絡会で掌握する。
- ・ 学術委員会：8つの専門委員会があるが、その見直しを行っている。特定課題委員会が機能しているかをチェック。
- ・ 支部研究発表会：発表形式の見直しを行っている。
- ・ サービス部会：支部功労賞は、今年初めて実施した。
- ・ CPD：受け入れていただく組織にどのようにアプローチするのか。
- ・ HP 管理：北総研で一手に引き受けてきたが、委員が終了するので引継ぎを今年から行う。
- ・ 関連団体：設計会議：CPD
- ・ AIJ - JIA 企画・運営：支部長 + 代議員 + 総務委員長
- ・ 北海道建築士会 CPD 関連：
- ・ 総務委員会：後藤委員長より羽山委員長に引継ぎ。行政と民間より代議員経験者を各一名。新旧常議員より各1名。
- ・ 以上について審議し、担当常議員を以下のように決定した。ただし、下線を付した氏名は常議員以外の委員である。

1. 事業主査連絡会

留任常議員

新任常議員

- ・ 北海道作品発表会委員会 : 鳥谷部隆司 田中淳一
- ・ 北海道建築賞委員会 : 南出孝一 久保田克己
- ・ 作品選集支部選考部会 : 塚田哲也 藤原智史
- ・ 支部共通事業設計競技審査委員会 : 飯田雅史 玉木勝美
- ・ 卒業設計優秀作品審査委員会 : 米田浩志 小篠隆生

2. 学術委員会

・ 学術委員会

- (専門委員会、特定課題研究委員会) : 杉山 雅 高崎 格
- ・ 支部研究発表会 : 高橋章弘 小篠隆生

3. サービス部会

- ・ 会員サービス、CPD、支部功労賞 : 鳥谷部隆司 沢田幹夫
- ・ ホームページ管理委員会 : 高橋章弘 田中淳一

4. 総務委員会

羽山広文(委員長)、福島明(行政)、那須豊治(民間)
米田浩志(旧)、藤原智史(新)

5. 関連団体

- ・ 北海道建築設計会議 : 南出孝一、沢田幹夫
- ・ AIJ-JIA 企画委員会 : 城 攻、福島明、奈良謙伸、那須豊治、羽山広文、横山 隆 (050811 修正)
- ・ AIJ-JIA 運営委員会 : 城 攻、福島明、那須豊治、羽山広文
- ・ 北海道建築士会 CPD 関連委員会 : 鳥谷部隆司

年間スケジュールについて

(飯田 / 資料なし)

- ・ 第1回：7月19日
- ・ 第2回：9月29日(木)
- ・ 第3回：12月5日(月)
- ・ 第4回：2006年3月10日(金)
- ・ 第5回：2006年4月27日(木)

その他

1) 3D・ル・コルビュジェ展の後援依頼について(支部長)

- ・ 特定の出版なども目的に入れた展覧会であり、建築学会の後援になじみにくいのではないかと。
- ・ 特に強い諾否についての意見がないので、支部長判断とする。

2) 支部企画行事の CPD プログラム化について(支部長)

- ・ 学会は、プログラムのコンテンツの提供側という位置づけになっている。
- ・ 支部の行事も本部に倣って CPD として他の関連団体に積極的に行うべき。
- ・ 現在の可能性ある行事

建築作品発表会

研究発表会 + 記念講演会

建築文化週間(今年度：小樽での見学会、札幌での講演会)

専門委員会の主催による講演会、講習会、見学会

これらに関係団体に積極的に提供する。

- ・ 運営上は、登録の事務手続きが煩雑になる可能性がある。
- ・ 建築学会の行事を広く社会に提供するという趣旨を前提としている。
- ・ 基本的には、支部長提案通りに推進していく。
- ・ 北海道建築設計会議は来週開かれるので提案する。
- ・ 各専門委員会に対して事前の周知を行う。
- ・ 建築士会プログラム認定評議会など関係団体に事前に連絡する必要がある。幹事の方で各団体に確認。

3) 長期戦略ワーキングについて(支部長)

- ・ 中長期の支部運営に対して議論、提案するワーキング。二ヶ月に一回程度開催したい。支部長が頭になってワーキングを行う。
- ・ 城支部長在任期間中に答申を行いたい。
- ・ 官サイド：田中、教育サイド：米田、実務サイド：玉木、南出が担当委員となる。

以上